

# 私の高校時代

## ひたすら走り込む毎日だった スキ一部 (クロスカントリー)

鈴木 真由美 さん  
(旧姓 安藤 S59年卒)



現在  
吾妻スポーツ  
勤務



この原稿依頼の電話を受けたのは、娘のセンター試験の前日でした。私の高校時代は、娘と違って部活動一色の三年間だったなと思います。私は、スキー部に所属し、一年生からクロスカントリーの県強化選手として良い環境の中で練習をすることができました。入学して、突然五月の連休に県の合宿

へ招集され参加したのですが、今までの練習量とは比べものにならない走り込みが待っていました。毎日が辛くて、早く帰りたくて、誰もいない食堂で一人泣いていた事もありました。密かに顧問の先生を恨みながら：(落合先生と今は亡き遠藤武宏先生です。) 放課後は学校から斜平山の麓の地蔵園まで、毎日暮れなず

今、高校生のみなさんも、部活や勉強に頑張っていると思います。まわりの友達、先生、家族など、自分を支えてくれる人達に感謝の気持ちを忘れず、自分の力を信じて、高校生活を楽しんでほしいと思います。

む農道を走りました。田圃は早苗の青から実りの黄色に変わる季節の中をひたすら走り込みました。しかし、まだまだ甘かった。春の練習は楽な方で、シーズン中は選手同士競い合い、心臓がとび出る程の苦しさ、厳しさを経験しました。でもこの練習に耐えられたのは、チームリレー、個人目標を「蔵王インターハイ入賞」とし、同じ目標へ向かって、共に切磋琢磨してきた仲間がいたからだと思います。辛かった練習も、個人入賞リレー入賞と目標を達成した事で、うれし涙に変わり、また頑張ろうと思うことができました。

### クラス会



H24.11.25 S44年卒業家庭科担任 平賀 秋夫先生



H24.10.6 S47年卒業2組担任 五島 訓二先生



H24.11.3 H4年卒業4組担任 町田 悦子先生

同窓生の集いは  
6月29日(土)です。  
どうぞおこしください。

